



2020年8月7日

各位

会社名 広島ガス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 松藤 研介
 (コード番号 9535 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 総務部長 船木 孝哲
 TEL 082-252-3000 (広報環境室)

業績予想の公表に関するお知らせ

2020年5月11日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期(2020年4月1日~2021年3月31日)の業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

● 業績予想について

2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	74,900	2,700	3,000	1,900	27.99
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	82,268	2,971	3,454	2,153	31.76

2021年3月期通期個別業績予想数値(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	56,100	2,200	1,600	23.57
増減額(B-A)	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	63,358	2,435	1,813	26.74

業績予想の理由

2020年度(2021年3月期)の通期業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を合理的に算出することが困難であることから未定としておりましたが、最近の動向や現時点において入手可能な情報等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響を一定程度見積ったことにより、予想値を算定し開示することといたしました。

当期においては、都市ガス販売量を前期比9.9%減少の537百万m³と見込んでおります。収支は、今後の原油価格や為替レートの動向に影響されますが、原油価格(JCC)50\$/bbl、為替レート110円/\$の前提で、連結売上高は、前期比9.0%減少の74,900百万円、経常利益は13.2%減少の3,000百万円を見込んでおります。

[対前期実績(連結)]

(単位:百万円)

	2019年度実績	2020年度予想	増減	率(%)
売上高	82,268	74,900	△7,368	△9.0
営業利益	2,971	2,700	△271	△9.1
経常利益	3,454	3,000	△454	△13.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,153	1,900	△253	△11.8

[対前期実績(個別)]

(単位:百万円)

	2019年度実績	2020年度予想	増減	率(%)
売上高	63,358	56,100	△7,258	△11.5
経常利益	2,435	2,200	△235	△9.7
当期純利益	1,813	1,600	△213	△11.8

[前提条件]

	単位	2019年度実績	2020年度予想	増減
都市ガス販売量(注1)	百万m ³	596	537	△59
原油価格(JCC)(注2)	\$/bbl	68	50	△18
為替レート(TTM)	円/\$	109	110	1

(注) 1 2020年4月2日に当社HPで公表しました広島ガス事業計画(ガス需給計画)を変更しております。

都市ガス販売量は45MJ(メガジュール)/m³で表記しております。

2 JCC(=Japan Crude Cocktail)全日本に輸入される原油の月間の加重平均入着(CIF)価格

上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上